

「住みたくなるまち日本一」を目指して

富谷市記者会見資料⑥

平成30年2月27日

企画部企画政策課

担 当：松原

連絡先：358-0517

「とみやからはじまる未来の暮らし～富谷市水素セミナー～」の開催について

富谷市では、基本構想に掲げる「地球環境への貢献につなぐエネルギー地産地消のまちづくり」の推進のため、富谷市を実証フィールドとした環境省公募の「地域連携・低炭素水素技術実証事業」を進めているところですが、その一環として、下記のとおり、水素セミナーを行うこととなりました。

このセミナーは、今回の実証事業の取組みとあわせ、水素エネルギーの可能性について広く市民の皆さんにお知らせすることを目的に開催するものです。

報道機関の皆様におかれましては、ぜひ、取材していただきますようお願いいたします。

記

1. 開催日 平成30年3月18日（日）午後1時から午後4時まで
2. 場 所 富谷市役所1階市民交流ホール、3階会議室
3. 内 容
 - ・基調講演「未来の水素エネルギー社会について」
講 師：東北大学金属材料研究所 特認教授 河野 龍興 氏
 - ・事例報告「みやぎ生協の環境の取り組み報告」
発表者：みやぎ生活協同組合 環境管理室室長 大原 英範 氏
 - ・展示・試乗会
FCV（燃料電池自動車）展示・試乗会
水素実証事業共同事業者によるパネル展示など
4. 対 象 富谷市民ほか 200名程度
5. 主 催 富谷市
6. 協 賛 みやぎ生活協同組合（実証事業共同事業者）
7. 後 援 宮城県

～ 富谷水素プロジェクト始動～

・ とみやからはじまる未来の暮らし ・
TOMIYA Hydrogen Energy Project

富谷市水素セミナー



二酸化炭素の排出抑制を図るため、再生可能エネルギーの必要性については、市民の皆様もご存知のことと思います。

その中で、水素は“究極のエネルギー”と言われており、環境省をはじめ様々な取り組みを行っておりますが、あまり馴染みがないのが現状ではないでしょうか。

そこで、水素エネルギーって何だろう？ 水素ってどんなところで使われているの？ など、水素に興味を持っていただくための市民向けセミナーを、下記のとおり開催させていただきます。どうぞ、お気軽にご参加ください。

日時 平成30年3月18日（日）13時～16時

（12時30分から3階フロアで受付を開始します）

会場 富谷市役所（富谷市富谷坂松田30番地）

（講演会は3階会議室、展示・試乗会は1階市民交流ホールで受付）

内容 基調講演 未来の水素エネルギー社会について

（講師）東北大学 金属材料研究所 特任教授 河野 龍興 氏

事例報告 みやぎ生協の環境の取組み報告

（発表者）みやぎ生活協同組合 環境管理室 室長 大原 英範 氏

展示・試乗会（試乗会は15時から16時を予定）

- FCV（燃料電池自動車）の展示・試乗会 など
 - 水素実証事業共同事業者によるパネル展示 など
 - 地球温暖化に関するパネル展示・DVD上映 ほか
- ※天候により試乗会を中止する場合がございます。
※展示内容を変更する場合がございます。

対象 富谷市民ほか **200名程度**（講演会／申し込みが必要）

※申し込み方法など、詳しくは裏面をご覧ください。

※講演会の定員です。これに限らず、展示物はお覧になれます。

（展示物のみをお覧の際は、申し込みの必要はございません。）



講演会参加者には、エコバックなど記念品を限定プレゼント。

主催： 富谷市 **協賛：** **みやぎ生活協同組合**（実証事業共同事業者）
後援： 宮城県

【展示ご協力団体】(株)七十七銀行、ストップ温暖化センターみやぎ、実証事業共同事業者 他

とみやからはじまる未来の暮らし

TOMIYA Hydrogen Energy Project

環境省 地域連携・低炭素水素技術実証事業

地域と一体化! 「低炭素水素サプライチェーン実証事業」開始!



プロジェクトシステムフロー

再生可能エネルギーの太陽光発電が自然条件によって変動するという課題を克服し、発電された電力を最大限利用するため、電力を水素エネルギーに変換するとともに、その水素を安定した「カセット」に入れて配送し、別の場所で簡単に電気、熱として取り出して利用する仕組みです。

本プロジェクトでは、日立、丸紅、みやぎ生協、及び富谷市が、太陽光発電と水素活用を組み合わせたエネルギー供給の実証事業を行います。
地域センターの太陽光で発電した電力を使い、水を電気分解装置で水素に変換、生協の物流網で家庭、店舗、クラブや店舗にお届けし、電気・熱として利用します。

2013年12月、国や民間企業、学識経験者などをメンバーにした「水素・燃料電池戦略協議会」が設立されました。また、水素エネルギーの利活用の道筋を示した「水素・燃料電池戦略ロードマップ」が、2014年6月に策定されています。
今後は水素を活用したFCV(燃料電池自動車)やFCバス(トラック(燃料電池バス))が、EV(電気自動車)や、HV(ハイブリッド自動車)に並ぶ自動車として使われ、水素で動く燃料電池が電気・熱を供給するために、活用されることが期待されています。

カセット(水素吸蔵合金)とは?

水素ボンベではない
運搬性に優れた新しい保存方法
水素をため込む性質がある金属を使って水素を貯蔵しています。これは水素がきわめて小さな原子で、簡単に金属内部にしみこめて金属を膨張させてしまう性質を逆に利用したもので、意図的に水素を合金内部に吸収させておいて、好きな時に取り出せるようにしたものです。

環境省公募 地域連携・低炭素水素技術実証事業とは?

地域連携・低炭素水素技術実証事業は、環境省が中長期的な地球温暖化対策として、低炭素な水素サプライチェーンの実証を行う事業を公募するもので、平成29年8月に日立、丸紅、みやぎ生協、及び富谷市が共同で採択を受けました。水素は利用時にCO2を排出せず、地球温暖化対策にも有効なエネルギーです。
日立、丸紅、みやぎ生協、及び富谷市は、CO2を排出しない未来都市をめざし、富谷市を実証フィールドにて構築・実証したサプライチェーンを東北地域中全国に向け、拡大を図っていきます。



参加申込方法

講演会に参加ご希望の方は、①氏名、②住所、③連絡先(TEL等)について、電話・メール・FAXにて、富谷市企画政策課(022-358-0517)までご連絡ください。電話での申し込みも可です。
(電話受付時間: 平日9:30~17:30) **【申込締切 平成30年3月9日(金)】**

3月18日(日)「富谷市水素セミナー」講演会 参加申込			
ふりがな			
氏名		住所	
TEL		E-mail	

※ E-mail アドレスについては、お持ちの方のみご記入ください。
※ ご記入いただいた個人情報は、当セミナーの運営管理の目的にのみ利用させていただきます。

送付先FAX: 022-358-2365

問い合わせ: 富谷市 企画部 企画政策課 TEL : 022-358-0517
E-mail : kikakuseisaku@tomiya-city.miyagi.jp